

社会における学習者用デジタル教科書・デジタル教材の活用例

I. 教科書の挿絵や写真から調べて考える学習

<デジタル教科書・デジタル教材の主な機能等と活用方法>

教科書の紙面を拡大して表示する。(3.(2)(ア)①)

- ・教科書の写真資料、挿絵、地図などの細かな部分を拡大し、様々な角度から調べる。(3.(3)(イ)①)

<授業における具体的な活用例>

- 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考える際に、学習者用デジタル教科書を情報端末で使用することで、教科書にある写真や、地図を拡大して調べ、機械が何台あるのか、形が少しずつ違うのはなぜか、なぜ細かな要望に対応した製品を作ることができるのかなどと問いを設けて、工業生産に関わる人々の工夫や努力と国民生活の向上を関連付けて考え、活発な議論を行いやすくする。
- 狩猟・採集や農耕の生活をしていた頃の衣食住の様子、それらを支える仕事の様子や種類に着目して、遺跡や、遺物などを調べて、当時の生活や社会の様子を考える際に、学習者用デジタル教科書を学習者用コンピュータで使用することで、教科書にある当時の生活の様子や仕事の様子などが描かれた挿絵を拡大して、様々な角度から調べることができる。細かなところを拡大することで、だれが行っているのか、持っているものは何かなど調べたことと、遺跡や遺物などを調べたことと関連付けて、例えば「狩猟・採集の生活をしていた頃と農耕の生活をしていた頃では生活や社会の様子にどんな違いがあるのだろう」と問いを設けて、当時の人々の生活や社会の様子を考える手掛かりとする。

(参考) 関連する新学習指導要領の内容 (小学校社会)

第5学年

- (3)ア(イ) 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解すること。
- イ(イ) 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

第6学年

- (2)ア(ア) 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解すること。その際、神話・伝承を手掛かりに、国の形成に関する考え方などに関心をもつこと。
- イ(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

Ⅱ. 社会的事象の裏側にある人々の営みについて考える学習

<デジタル教科書・デジタル教材の主な機能等と活用方法>

教科書の紙面に関連付けて動画・アニメーション等を使用する。(3.(2)(イ)③)

- ・ 社会的事象にかかわる人々のインタビューや解説が分かる動画等のデジタル教材を一体的に使用することで、人々の思いや願い、工夫や努力などをとらえ、社会的事象の見方・考え方を働かせてより深い学びに到達させる。(3.(3)(ク)①)

<授業における具体的な活用例>

- 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考える際に、教科書で紹介されている地域の関係機関や人々の取組を説明する動画等のデジタル教材を学習者用デジタル教科書と一体的に使用することで、今後想定される災害に対しどんな活動をしているのか、どのような備えを行っているのか、どんな工夫や努力で災害に対処しようとしているのかなどと問いを設け、自然災害の種類や場所、時期について、様々な機関が協力して被害を減らすようにしていることなどについて調べ、被害状況と、人々を守る活動を関連付けてその活動の働きを考えさせる。
- 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食糧生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考える際に、教科書で紹介されている農業や水産物における食糧生産に携わる人々の話についての動画等のデジタル教材を一体的に使用することで、どのような工程で生産されているのか、なぜこのような生産の工程を取り入れているのか、どのように運ばれて消費者のもとに届くのか、などと問いを設け、食糧生産に関わる人々の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて考えられ、活発な議論が期待できる。

(参考) 関連する新学習指導要領の内容 (小学校社会)

第4学年

(3)ア(ア) 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。

イ(ア) 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。

第5学年

(2)ア(イ) 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解すること。

イ(イ) 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

Ⅲ. 大きさや広がり捉えて考える学習

<デジタル教科書・デジタル教材の主な機能等と活用方法>

大型提示装置に教科書の紙面に関連付けて地図等の資料を表示する。(3.(2)(ウ)①)

- ・教科書の写真資料と、校区地図等、物差しとなるような資料を合わせて提示することで、大きさや高さ、数などを子どもたちにとらえさせ、社会的事象の見方・考え方を働かせて問いを設ける。(3.(3)(ク)①)

<授業における具体的な活用例>

- 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考える際に、学習者用デジタル教科書の写真資料等に関連付けて、大型提示装置に学習者用デジタル教科書と地図ソフトや、地域の様子写真などの資料を一体的に提示することで、自分たちの市はどのように広がってきたのか、地下鉄・電車はどのように変化してきたのか、などと問いを設け、市内の地下鉄・電車・鉄道などの公共交通機関や主要な道路などが整備される前と整備された後の市の様子、現在の市の様子や人口の変化、生活の道具の変化について調べ、市の変化の様子や傾向について考えさせる。
- 古墳の広がり、大きさ、高さなどに着目して、身近な地域や国土に残る古墳について調べ、豪族や、大和朝廷（大和政権）の力を想像して当時の社会の様子を考える際に、学習者用デジタル教科書の写真資料等に関連付けて、大型提示装置に学習者用デジタル教科書と地図ソフトや、地域の様子写真などの資料を一体的に提示することで、なぜこんなに大きな古墳を作ることができたのか、日本全国にどのように広がっていったのか、などと問いを設け、古墳の大きさと、校区の大きさを比べたり、古墳の分布と日本地図を重ねたりしてしらべ、豪族がどのように力を伸ばし国を治めたか考えさせる。

(参考) 関連する新学習指導要領の内容（小学校社会）

第3学年

- (4)イ(ア) 交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違いに着目して，市や人々の生活の様子を捉え，それらの変化を考え，表現すること。

第6学年

- (2)ア(ア) 狩猟・採集や農耕の生活，古墳，大和朝廷（大和政権）による統一の様子を手掛かりに，むらからくにへと変化したことを理解すること。その際，神話・伝承を手掛かりに，国の形成に関する考え方などに関心をもつこと。

- イ(ア) 世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，我が国の歴史上の主な事象を捉え，我が国の歴史の展開を考えるとともに，歴史を学ぶ意味を考え，表現すること。